

# 友野和子



市議会だより

No.1 2019. 7. 10

令和元年6月。清瀬市議会に参加し市政について初めて意見をのべさせていただきましたので、ご報告をさせていただきます。長年、友野ひろこがお世話になりました。このたび市議会議員に初当選をさせていただき感謝をすると共に、義母のひたむきな姿勢を引き継ぎ、指導を受けながら、皆様のお役にたてればと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

議会は、令和元年6月10日(月)より開会され、6月28日に閉会されました。

市長の元気な所信表明(6月「市報きよせ」参照)のあと、各党派の代表質問からはじまりました。一日目で繰り広げられた代表質問の一問一答方式に感化され再度質問の仕方を変えたが経験不足で時間が足らなくなり、その場で伝えられなかったことを含めてのご報告とさせていただきます。今年、福祉保健常任委員会と議会運営委員会に所属することとなりました。制度が細かく全体で判断していかなければならない、把握するのに時間がかかる案件が多く、宿題を抱えたスタートでした。一所懸命に取り組んでいきますので、どうぞご理解とご協力を承りたく、お願い申し上げます。また今回、沖縄の辺野古新基地建設について・国連の「沖縄県民は先住民族」とする勧告の撤回についての2件の陳情が総務文教常任委員会に提出され、議案となって採決されるという民主主義の仕組みや、議員提出議案が多数決で決まることを如実に感じた議会でした。一つ一つの内容を吟味し質問をし、賛成または反対の決断を市民に代わって行う事の責任の重大さを知りました。今後も課題を持ち続けて、現状を探り、勉強を重ねて判断をしまいたいと思っております。

## 福祉健康常任委員会

議案6件(可決)。主な内容は、

- ①「清瀬市国民健康保険税条例の一部を改正について」課税限度額の引き上げと均等割額の減額が(平成31年4月1日)されました。
- ②「清瀬市介護保険の一部を改正について」介護保険料が10月より減額となります。

これら2件は、社会保障制度の一体改革の流れの10月からの消費税率改定に向けての対応策で、所得の低い方に対する負担軽減の条例改正であります。国は半分。都は4分の1。市は4分の1の負担であり、清瀬市の負担額は1300万円位となるそうです。少子高齢化の時代に、社会保障が果たして持続できるのか、国民の努力が地域で問われる制度改革。これからの時代は、世代や性別、個人や家や地域を踏まえた上での自治体のサービスのあり方・生きがいを持って働き支えあう共生社会の在り方を考える必要があります。経済の面でも、金融政策に頼らない地域での経済の循環を作る事が大切です。

- ③「清瀬市立保育園設置条例等の一部改正について」これらは消費税と同時に行われる幼児教育・保育料の無償化に伴い幼稚園との不均衡を是正する為の給食費に関する議案と多子世帯への保育料の軽減策です。子育て世代に対する対応策として10月から施行されます。今抱えている保育の現状の課題を踏まえ、保育者の確保・認可外保育施設への補助など、清瀬が実践してきた地域の教育力が損なわれないようにしてゆく事が大切だと発言しました。

## 私の一般質問

選挙活動を通して市民の方々から寄せられた案件と気になっている案件について取り上げさせていただきます。

### 1 ひまわりフェスティバルについて

年々知名度も上がり、目標の「地域の大切な資源を活用し、ひまわりの花を咲かせる事により新たな観光スポットとして付加価値をつける」までは実現できているように思うが、後半の「市内外及び海外より多くの観光客を招き入れる事で、清瀬市の地域活性化に結びつける」といった面で、清瀬に14万8千人近くの人を呼び込んだあとの経済効果について質問と提案をさせていただきました。今年については、清瀬市の発展を目指して、南ルートレンタルサイクル。今後については鉄道会社に対する交渉について、提言させていただきました。

### 2 秋津駅南口の喫煙所について

平成10年「清瀬市まちを美しくする条例」にさかのぼり、清瀬駅は条例で置かれた美化推進員さんの働きもあってきれいに保たれている事などに触れ、秋津の喫煙所は「今年度、煙等の拡散を軽減するパーテーションの工事を実施するほか、マナー改善については市の職員のパトロール強化などをする。今後においては、利用者の分散を図るため北口方面に新たに喫煙所が設置できないか検討する。」という市からの回答を得ました。喫煙所の設置後、駅前のタバコのポイ捨てはかなり減ったと聞きます。また、受動喫煙防止条例を掘り下げ、家庭での喫煙が子ども達への被害につながっている事を知るとこの喫煙所の存在は非常に役立っている事とわかりました。ただし、この問題は今後も、喫煙者のマナーの改善を含め、南口の場所についても適切な場所の提供を市民に呼び掛けるなど、隣接市も含めた秋津駅周辺の住民の問題としてとらえていく必要性を感じました。

### 3 清瀬駅南口のエスカレーターについて

「鉄道事業者からは、現状ではエスカレーターを設置するには階段幅が狭くなることから、駅前広場の整備と一体的に整備したい」との回答を得ているとのことで、この課題については、引き続きまた取り上げさせていただきますたく存じます。

### 4 防災について〈日頃の訓練と今後の課題についての質問〉

「今回470人の参加を得た5月の総合水防訓練では、消防団をはじめ、近隣自治会、PTA、社会福祉協議会、医師会、薬剤師会、柔道整復師及びNPO団体などが参加し、いざという時の備えをしている。今回避難所における簡易間仕切りシステム、ドローンを使った災害時における被災状況の航空写真の提供など、実践的な対応を備えており、防災活動を通しての日頃の組織づくりも着実に作り上げてきている」という現状を掴みました。今後有事における、東京都近郊での清瀬市の存在が見えてきたように思われます。

### 5 新市庁舎について

新市庁舎の計画の再確認と議場利用のふさわしい利用法として「子ども議会」の開催について提案させていただきました。取り組みについては進められているそうです。耐震のある新しい庁舎で、子ども達が議会に取り組む姿を見るのが今から楽しみです。



武見敬三さんと



視察先トンネルコンポスト